保証書 　持込修理　無料修理規定

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
（ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
（ホ）本書のご提示がない場合
（ヘ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
（ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
（チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3.ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4.本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5.本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

商品名	ドリップケトル			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型 番	COK-WS100A-S	品 番	08-1241	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）

お客様	
	フリガナ ★お名前　　　　　　　　　　様
	★ご住所　〒　　　ー 電話　　（　　）

修理メモ

販売店	★住所　店名　電話　　　　　㊞

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　**お客様相談室** へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00〜17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　**修理ご相談センター**へ
電話受付　048-992-3970 平日 9：00〜17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

キリトリ

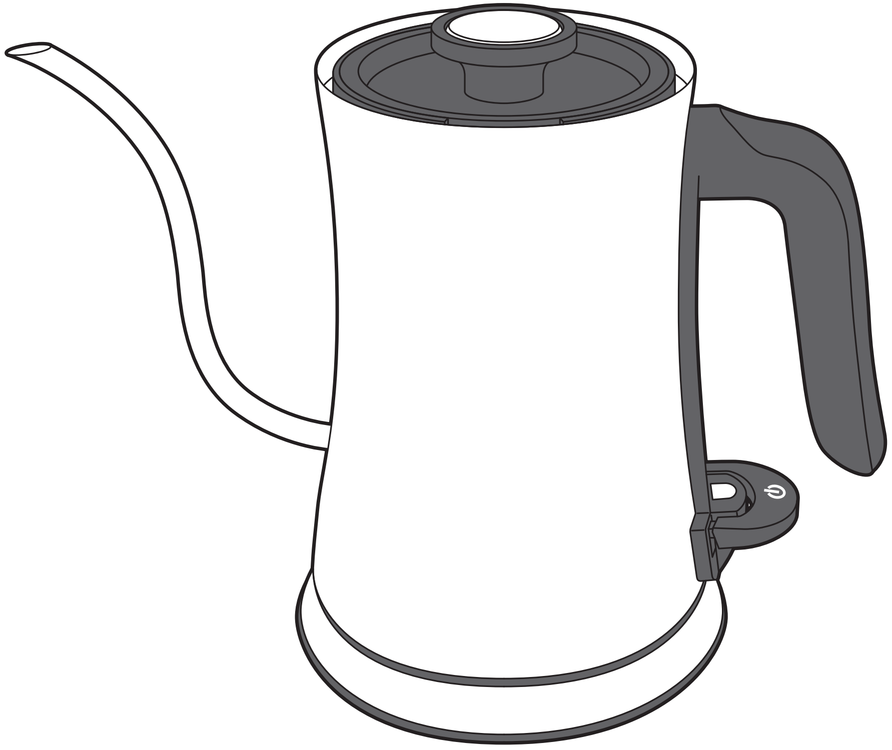
OHM

ドリップケトル

保証書付取扱説明書

型番：**COK-WS100A-S**　品番：**08-1241**

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくお使いください。
この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。



必ずお読みください

安全上のご注意

**ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。**

●表示について:表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は図記号の一部です)

禁 止	この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
指 示	この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

必ず守る	**電源プラグは根元まで確実に差し込む。** 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	電源プラグを抜く	**お手入れのときは必ず電源を切り電源プラグを抜いてから行う。** けがや感電のおそれがあります。
必ず守る	**電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。** 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	ぬれ手禁止	**電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。** 感電事故の原因となることがあります。
電源プラグを抜く	**発熱、発煙、異臭、異音、異物混入など異常があった場合はコンセントから電源プラグを抜く。** 火災や感電のおそれがあります。使用を中止して販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。	分解禁止	**お客様ご自身での分解、改造、修理はしない。** 火災や感電、けがのおそれがあります。販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。ご自身で分解、改造、修理を行った場合は保証の対象となりません。
電源プラグを抜く	**使用しないときはコンセントから電源プラグを抜く。** 思わぬ事故や、けがの原因となることがあります。	禁止	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。** 感電やショートによる発火の原因となることがあります。
電源プラグを抜く	**電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず電源プラグを持つ。** 感電やショートによる発火の原因となることがあります。	禁止	**ケトル本体の底部や電源プレートを水につけたり、水にぬらしたりしない。** ショートしたり、感電するおそれがあります。

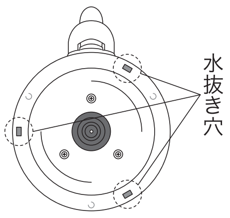
必ず守る	**電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。** 交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と併用したり、延長コードを使用すると発熱による火災の原因になります。	禁止	**直火(ガス台など)や電磁調理器(IHクッキングヒーター)、電気ヒーターの上にのせない。** 火災、誤作動、故障の原因になります。
禁止	**電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、束ねたり、引っ張ったりしない。** 火災や感電のおそれがあります。	禁止	**お子さまだけでのご使用や、お子さまの手の届く場所で使用しない。** けがややけど、感電のおそれがあります。
禁止	**本体を傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しない。** 湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。	禁止	**壁や家具などの近くでは使用しない。** 蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、変色、変形などの原因となることがあります。
禁止	**MAX目盛0.6L以上の水を入れない。** やけど、感電、けがをするおそれがあります。	禁止	**使用中や使用後しばらく高温部に触れない。** やけどの原因になります。
		禁止	**ケトルを転倒させせない。** 湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。

注意

必ず守る	**水平の安定した場所に設置する。** 本体が倒れ、やけど、けがのおそれがあります。	禁止	**火気の近くや油の掛かる場所で使用しない。** 火災や感電のおそれがあります。
必ず守る	**電源コンセントの近く(コンセントの抜き差ししやすい場所)に設置する。** 火災や感電、故障のおそれがあります。	禁止	**フタを開けた状態では、湯を沸かさない。** 沸とうしても自動で電源がオフされずに湯を沸かし続け、湯が本体から飛び出すなど危険です。
必ず守る	**使用中は本製品から離れない。** 発火や故障のおそれがあります。	禁止	**湯沸かし中または湯沸かし直後は、ふたを開けたり、注ぎ口に触れたり、蒸気に手を近づけたりしない。** 注ぎ口などから熱い蒸気が出て、やけどをするおそれがあります。
必ず守る	**お手入れは冷めてから行う。** 感電ややけどのおそれがあります。	禁止	**牛乳を沸かす、紅茶を煮出す、スープを作るなど、水以外のものを入れたり、沸かさない。** ふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。
禁止	**専用の電源プレート以外は使わない。また、付属の電源プレートを他の機器に転用しない。** 発火、故障の原因になります。	禁止	**電源プレート中央の接続部(金属部)にピンを差し込んだり、ゴミを付着させない。** 感電、ショート、発火の原因になります。
禁止	**湯沸かし中は、移動させない。** 湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。	禁止	**家庭用なので業務用として使わない。**
禁止	**本製品を落としたり、強い衝撃や振動を与えない。** 火災や故障のおそれがあります。		

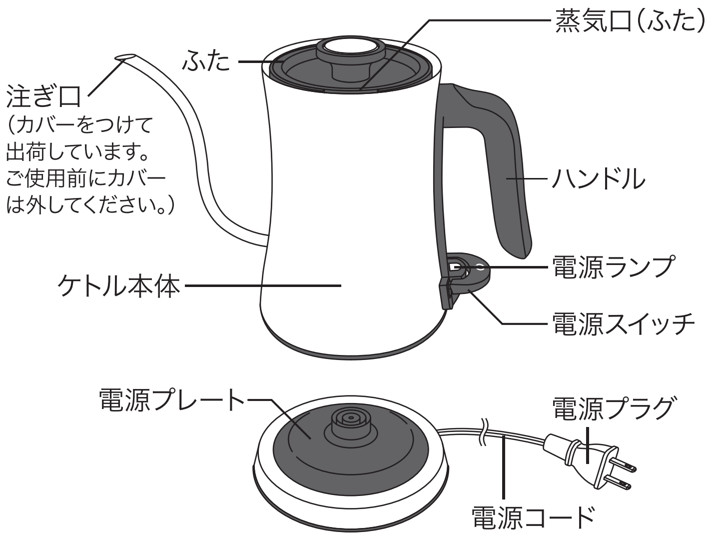
●**ケトルに水が入ってないときは、スイッチをオンにしない。**
故障の原因になります。
●**本製品には保温機能はついていません。**
●**本製品は必ず屋内で使用してください。**

●**水をケトル本体に入れた状態でケトルを倒しますとハンドル内部を伝わって水が底部に入ることがあります。ケトル本体底部にある水抜き穴から水が外部に出たことを確認の上、ご使用ください。**



<ケトル本体底>

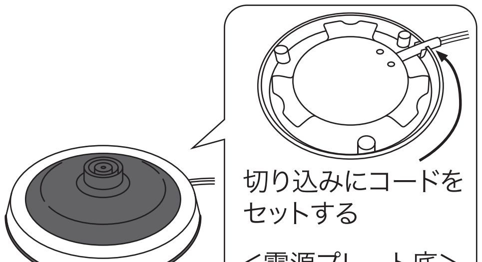
各部の名称



●本製品は、ケトル本体と電源プレートのセパレート式になっています。
●電源スイッチを入れないと作動しません。
●空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れます。

使用する前に

1.電源コードをセットする



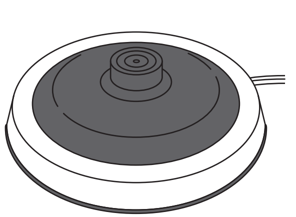
＜電源プレート底＞

●電源プレートの切り込みにコードを確実にセットしてください。
●コードを巻き付けたまま使用しない。

お知らせ

コードリールではありませんので、コードをひっぱって長さを調節することはできません。

2.電源プレートを置く



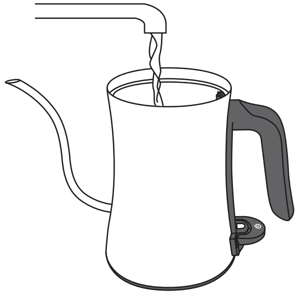
●電源プレートは清潔で平らなところに置きます。

⚠ **注意** 付属の電源プレート以外は使用しないでください。

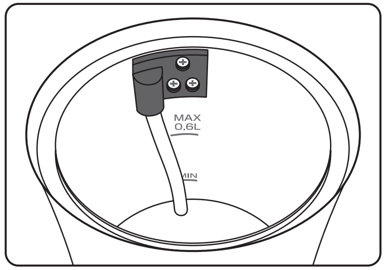
使用方法

1.ケトル本体に必要な量の水を入れ、ふたを閉める

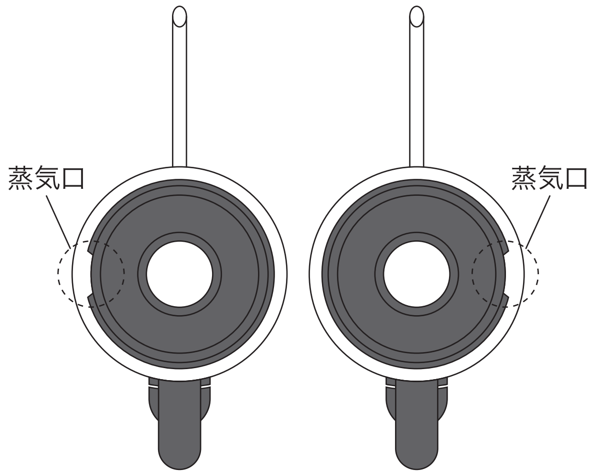
●ふたを外し、ケトル本体に水を入れます。
●水量は0.2L以上、0.6L以下まで入れます。
●蒸気口の向きに注意して確実にふたを取り付けます。
●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。



■水量目盛り
MAX（0.6L）／MIN（0.2L）



＜本体内側＞



＜蒸気口が左の場合＞ ＜蒸気口が右の場合＞

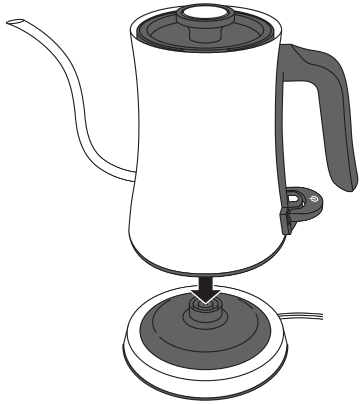
※ハンドルや注ぎ口に対して90度の位置に蒸気口を向けてふたを確実に取り付けてください。

⚠ **注意**

●初めてケトルを使用する際は、必ず数回本体内部をすすいでからご使用ください。
●電源プレートの上に本体を載せた状態のまま水を注ぐことはおやめください。
●水を入れすぎると、ふきこぼれるおそれがありますので、MAX目盛（0.6L）以上は水を入れないでください。
●水を入れないまま、空だきをしないでください。故障の原因になります。
●空だきをすると、1分程度で本体内の安全装置が作動して、電源スイッチが切れます。その場合、ケトル本体は非常に熱くなり直ぐには使用できませんので20分ほど経ってから使用してください。
●ふたがきちんと閉まっているのを確認してください。ふたがきちんと閉まっていないとお湯が沸いても電源が切れない場合があります。
●水以外のものは沸かさないでください。ふきこぼれ、故障の原因になります。

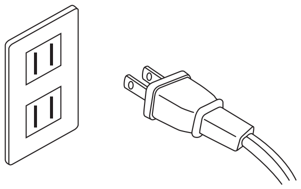
使用方法（続き）

2.ケトル本体を電源プレートに正しくセットする。



●電源プレートにセットする際は、ケトル本体が安定していることを確認してから手を離してください。

3.電源プレートのプラグをコンセントに差し込む



注意 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災、故障の原因になります。

4.電源を入れる

電源ランプ
湯沸かし時に、青色のランプが点灯。
お湯が沸とうすると消灯。

●ハンドル下部にある電源スイッチを下へ押して、電源を入れます。

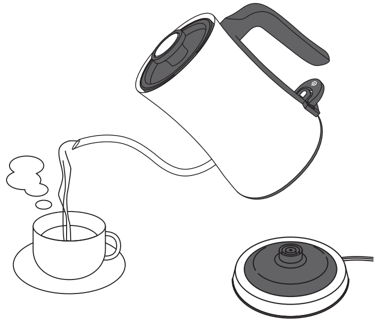
注意 湯を沸かしている最中は絶対にふたを開けたり、蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどをするおそれがあります。

お湯が沸とうすると電源スイッチは自動的に切れます。

●お湯が沸とうするまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なります。
●お湯が沸く前に電源を切る場合は、電源スイッチを上げてオフにしてください。

■沸とう時間目安 ※常温の水を使用した場合（水温約26℃）
MIN（0.2L）…約2分／MAX（0.6L）…約5分

2.お湯を注ぐ



沸とう状態がおさまってからお湯を注ぎます。

●電源スイッチがオフになっていることを確認し、本体を電源プレートから外します。
●本体をゆっくり傾けて、カップなどにお湯を注ぎます。
●カップなどは、手に持たないで安定した場所に置いてお湯を注いでください。
●ケトル本体を電源プレートに戻す際は、ケトル本体が安定していることを確認してから手を離してください。

注意

●沸とう直後にふたを開けないでください。やけどをするおそれがあります。
●本製品には給湯ロックの機能はついておりません。注ぎ口からは、常にお湯が出る状態ですので、扱いには十分にご注意ください。
●お湯を注ぐ際、急にケトル本体を傾けないでください。注ぎ口からお湯が飛び出すおそれがあります。
●湯沸かし直後はケトルのハンドル以外の部分は大変熱くなっています。触れないようご注意ください。また、本体の底面も熱くなっていますので、テーブル等に置く際は鍋敷きなどを敷いた上に置いてください。

お知らせ

●ケトル使用後にしばらくすると、カチッと音がすることがありますが、これは熱せられた金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。

使い終わったら

<残ったお湯は捨てる>

●ご使用後は、水あかの付着をおさえるため、お湯を残さず、ケトル内部を空にしてください。
●ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れのしかた

安全のため、電源プラグを抜き本体・周辺が冷めてから行ってください。

各部のお手入れの際、金属製・ナイロン製のたわしや、みがき粉、ベンジン、シンナー、漂白剤などを使用しないでください。

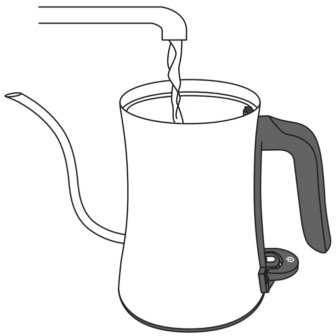
本体外側のお手入れ

●ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんなどを固く絞り汚れを拭き取ります。
●その後、水分を完全に拭き取ります。

<冷めてから拭く>

注意 ●ケトル本体と電源プレートを水に浸けることは絶対におやめください。故障の原因になります。

本体内側のお手入れ



●水でよくすすいでください。そのあと乾いた布でしっかりと拭いてください。
※長期間使用しない場合は、しっかりと自然乾燥させたあと、保管してください。
※本体内側の汚れ（白い浮遊物、虹色などの変色、赤サビ状のはん点など）は、水の成分の作用によるもので、容器自体の変色等ではありません。

本体内側の汚れが落ちにくい場合ークエン酸を使って

①水をMAX目盛（0.6L）まで入れ、その中にクエン酸（12g程度）を入れて、かき混ぜます。
②ふたを閉めて沸とうさせ、その後、約1時間放置します。
③お湯を捨て、水で十分にすすぎます。
④クエン酸のにおいが気になる場合は、水だけを入れて、再度沸とうさせ、お湯を捨ててください。

注意 本体内側のステンレス部分をお手入れする際は、柔らかいスポンジをお使いください。また、強くこすらないでください。表面に傷がつくおそれがあります。

電源コード・電源プラグのお手入れ

●乾いた柔らかい布などで拭き取ります。

収納する

●直射日光をさけ、湿気が少ない場所に保管してください。
※本体をお手入れしてからポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。

故障かなと思ったら

症　状	原　因	対　策
電源が入らない。	●コンセントにプラグが入っていない。	◎電源プレートのプラグを確実にコンセントに差しこんでください。
	●沸とう直後は、電源を自動的に切るためのセンサーが熱くなっているため、電源スイッチが入らないことがある。	◎センサーが冷めるまでしばらく待ってから、電源スイッチを入れてください。
	●空だきをしたため、安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れた。	◎ケトル本体を電源プレートから外し、熱を冷ましてから水を入れてください。
自動電源OFFが機能しない。	●本体の水の量が少ない。	◎水量をMIN目盛（0.2L）以上に増やしてください。
	●ふたがしっかり閉まっていない。	◎しっかりとふたを閉める。
水が漏れる・ふき出す。	●MAX目盛（0.6L）より多く水が入っている。	◎水量をMAX目盛（0.6L）以下に減らしてください。
	●水以外の飲料が入っている。	◎水以外は沸かさないでください。

上記の点検または処置をしても異常が直らなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターへご連絡ください。

仕様

商　品　名	ドリップケトル
定　格　電　圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1000W
本　体　寸　法	(約)幅267×高さ204×奥行144mm
最　大　容　量	0.6L
質　　量	本体:約750g　　全体:約920g
コ　ー　ド　長	約0.75m

※製品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。
※型番、品番は器具本体に貼ってあるラベルをご参照ください。